

座談会

家族性膵癌は膵癌症例全体の5~10%に該当し、家族性膵癌家系の個人における膵癌発症リスクは、そうでない家系の個人に比べ有意に高いことが判明している。死亡率が高く、罹患率が低い膵癌のスクリーニングにおいてはハイリスク群を対象とする必要があり、家族性膵癌家系は膵癌のリスクファクターとして重要な手がかりとなる。しかしながら、家族性膵癌を引き起こす遺伝子異常などのメカニズムについては、いまだ不明な点が多く残されている。本日は、家族性腫瘍に関わるエキスパートの先生方にお集まりいただき、家族性膵癌の臨床上の意義と治療方針について討論いただいた。